

2016年9月27日
東日本旅客鉄道株式会社
新潟支社

新津駅「エコステ」モデル駅整備について

JR東日本では、省エネルギー・再生可能エネルギーなど様々な環境保全技術(エコメニュー)を導入する取り組み「エコステ」を実施しています。

新潟支社では、信越本線新津駅を「エコステ」モデル駅として、10月から本格的に工事着手し2017年3月の使用開始に向けて整備を進めます。

主なエコメニューとして、電車のブレーキ時に発生する回生電力を駅施設等に供給できる「蓄電池付駅舎補助電源装置」をJR東日本として初めて導入します。通常、発生した回生電力は、近くを走行する電車で活用しています。本装置の導入により、近くに電車がいない場合など活用しきれない回生電力を駅の電力として有効活用し、駅の使用エネルギーを抑制します。

その他、鉄道林間伐材の活用やエコ表示モニターを設置するなど、新津駅はエコな駅に生まれ変わります。エコステ整備により、新津駅のCO2排出量は2014年度に比べ約42%(約127t)の削減を見込んでいます。

回生電力発生による電気の流れ(イメージ)

【現行のイメージ】

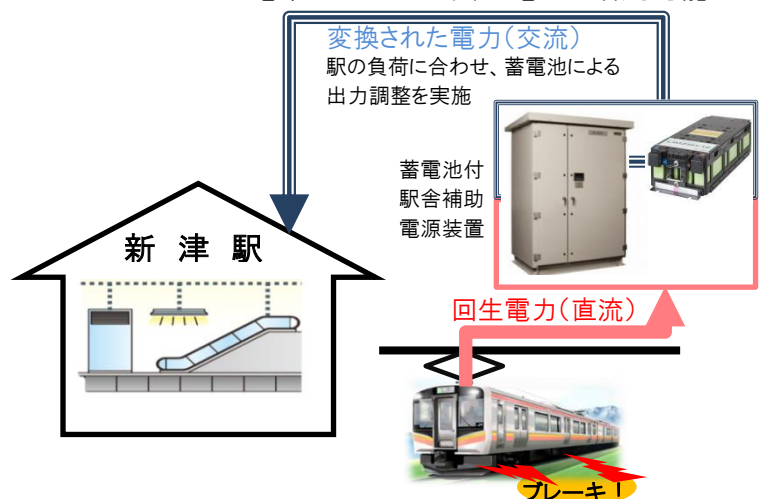
近くを走行する電車が回生電力を活用



※回生電力…電車がブレーキをかける時にモーターが発電機として動作することで発生した電力

【駅舎補助電源装置 導入後のイメージ】

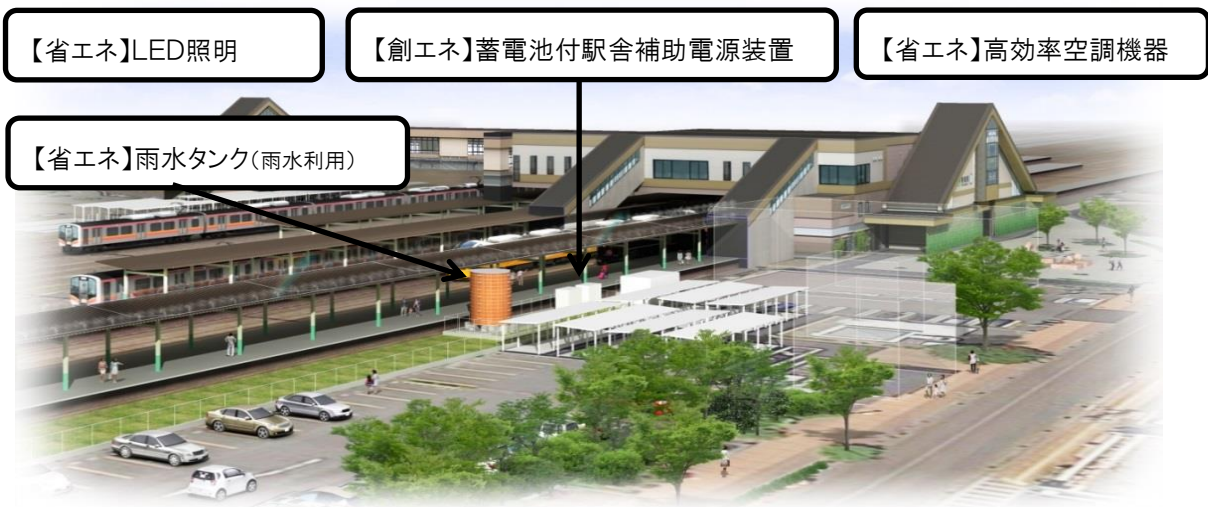
近くに電車がなくても回生電力を活用可能



◇ その他、導入予定のエコメニュー

- 駅のすべての照明をLED照明にします！
- 駅舎の空調機器を高効率空調機器にします！
- 壁面の一部を緑化し、癒しや安らぎを提供します！
- トイレ・壁面緑化の灌水に雨水を利用します！
- 回生電力の仕組みなどを体感できる体感展示コーナーを設置します！
- 駅舎補助電源装置での発電量などをエコ表示モニターでお知らせします！
- 自然素材(鉄道林間伐材・炭)を活かした待合室にリニューアルします！

◇ 外観イメージ図



JR東日本の「エコステ」4つの柱

【創エネ】再生可能なエネルギーの積極的な導入

【省エネ】一步進んだ省エネルギー化の推進

【エコ実感】お客さまが「エコ」を実感できる施設の整備

【環境調和】人と環境との調和による活気の創出

◇ コンコース・待合室イメージ図



◇ 工事期間

2016年10月から2017年3月(予定)

◇ その他

使用開始日等につきましては、決まり次第お知らせいたします。